

氏名(本籍)	宮本俊和(茨城県)			
学位の種類	博士(スポーツ医学)			
学位記番号	博乙第2570号			
学位授与年月日	平成23年12月31日			
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当			
審査研究科	人間総合科学研究科			
学位論文題目	スポーツ選手の外傷・障害に対する鍼治療の効果			
主査	筑波大学教授	博士(医学)	久野譜也	
副査	筑波大学教授	博士(医学)	宮川俊平	
副査	筑波大学准教授	博士(医学)	向井直樹	
副査	筑波大学准教授	博士(医学)	坂根正孝	

### 論文の内容の要旨

#### (目的)

スポーツ外傷・障害に対する鍼治療の効果を検討することを目的とした。

#### (対象と方法)

主に筑波大学学生を用い、1. スポーツ外傷・障害に対して、低周波鍼通電療法の効果、2. マラソン後の筋痛に対する円皮鍼の効果、そして3. 運動部合宿中の筋疲労に対する円皮鍼の効果について検証を行った。1. については筑波大学スポーツクリニックにきた運動部学生を対象に主にスポーツ外傷・障害からくる筋痛や腰痛について、鍼通電刺激法を用いて鍼の効果の評価を行った。2. 3. については筆者自身で作成した二重盲検用円皮鍼を用いて、持続的使用(マラソン)からくる筋疲労に対する効果や、強度の高い運動負荷が繰り返される「合宿」における筋疲労に対する鍼の効果を検証した。

#### (結果)

1. について、疾患部位は腰部、膝部、大腿部が主なものであったが数回の治療の効果があった。練習に支障となる筋痛が、数回の鍼通電刺激において、筋痛が緩和された。2. についてマラソンによる慢性の筋疲労に対する鍼治療の効果筋硬度と筋柔軟性を指標としたが、鍼施行群の方が有意に筋硬度は低く、筋柔軟性が高かった。3. について、合宿中に筋疲労の抑制に有効であると考えられる経穴に対して、二重盲検法をデザインして筋疲労軽減効果を見た研究である。偽円皮鍼群より円皮鍼群で筋疲労軽減効果が示された。

#### (考察)

1. についてはスポーツ外傷・障害による疼痛の軽減効果を検証したものであるが疼痛を自覚する流れの部分に鍼刺激が抑制する効果があることが示唆された。2. 3. については両研究ともに二重盲検法を用いているが、円皮鍼が神経-筋伝達機構に作用して筋疲労が軽減したと推察された。

### 審査の結果の要旨

本論文は、長年にわたる筆者の研究の集大成であり、スポーツ外傷・障害に対する「鍼」の効果を客観的

に評価した草分けの論文も含んでいることは評価に値する。またこれらの研究はおそらく世界的にみても数の少ない貴重な論文と考えられた。臨床現場における研究の困難さを克服し、二重盲検法を行ったことは審査員の中でも高く評価された。

鍼治療の効果を正確に判定するのは難しいところであるが、筆者は自作の二重盲検用の円皮鍼を試作しこれらの研究を行っているが、研究の手法などレベルの高いものと考えられる。そして鍼の効果の検証を科学的な手法で行ったことは評価に値する。

平成 23 年 10 月 14 日、博士（スポーツ医学）学位論文審査委員会において、審査委員全員出席のもと人間総合科学研究科学学位論文審査等実施細則第 11 条（2）の適用により学力の確認を免除し、論文について説明をもとめ、関連事項について質疑応答を行った結果、審査委員全員によって合格と判定された。

よって、著者は博士（スポーツ医学）の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。